

あぶた福祉会

第79回

清水友愛の里で 花見を開催

5月18日に今年度最初の行事であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で4年ぶりの開催となった花見（観桜会）を清水友愛の里の敷地内で実施しました。当日は天候にも恵まれ、晴天の中で観桜会を実施することができました。

食事では、ラム肉の焼肉、鶏肉の炭火焼き、塩焼きそば、おにぎり、利用者の皆さんにはデザートでプリンを提供しました。屋外で炭火をおこして食べる食事は、格別なものであり、利用者の皆さんは「美味しいね」と満足して食べていました。

レクリエーションでは「借り人競争」、「ジェスチャーゲーム」、「花を咲かせましよう」の3つのレクリエーション

ンを行いました。借り人競争では普段関わることの少ない、さぽーとステーションや友愛の里の利用者、職員が交流でき、一緒にゴールを目指し、職員、利用者の皆さんからは笑顔が溢れていました。ジェスチャーゲームでは、職員がお題をジェスチャーして利用者の皆さんに当ててもらい、みんなで楽しんでいました。

花を咲かせましようでは、大きい画用紙に描かれた木の絵に、手作りの桜の花びらを付け、綺麗な桜を咲かせました。

花見（観桜会）当日は本物の桜はあまりなかったのですが、レクリエーションで作られた桜のパネルは花見らしく、華やかでとてもきれいな桜の木を完成させることができました。最後には完成した桜の木と一緒に記念写真も撮りました。



今年の花見（観桜会）は、4年ぶりの開催となりましたが、天候にも恵まれ食事やレクリエーションと利用者の皆さん、保護者の皆さまもゆっくり、のんびりと楽しむことができたと思います。

久しぶりの外食 で焼肉を堪能

コロナが5類に移行して久しぶりに外食をしました。グループホームの利用者と話をしながら「お肉が食べたい」、「おなか一杯食べたい」との希望があり町内の焼肉店での食事です。

コロナ禍の間は外食もできず、買い物も感染予防のため職員と一緒に出掛けることがほとんどでした。昨年より町内は職員と一緒にではなくても外出が可能となり、今年度に入ってから外食も解禁されました。久しぶりの外食のためか、時間より早めに迎えに行ったのですが、みんな気持ちにはやり、外で迎えを待っていました。

普段は世話人さんが、バランスの良い食事を作ってください、量も多過ぎず少な過ぎることなく提供してくれています。せっかくの外食だったため好きな物を食べるようにと声を掛けて焼肉が開始され



ました。普段からの習慣なのか、皆さん必ず野菜もしっかりと食べていました。普段はご飯を少ししか食べない方も普段以上に食べていました。

食べながら仕事のこと、グループホームでの生活のことなどを話しました。また「今度はどこに行こうか」との声も聴かれ、今後コロナ禍以前のように町外への外出時にもファストフードでの食事や喫茶店などの利用も増えることなどが話題になりました。

今後も感染予防対策を忘れることなく楽しむことを伝えながら、個々の楽しみが増えていくような支援がしたいと思っています。